

# 豊明市家庭系ごみ減量化実施計画（概要版）

## 1 豊明市家庭系ごみ減量化実施計画とは

「ごみの減量化」、「市民負担の公平性の確保」及び「財政負担軽減」を目的として豊明市におけるごみ減量化に向けた施策、目標等について定めるものです。

## 2 計画の基本方針

平成29年度の1人1日当たりの家庭系ごみの量（資源を除く）503gを基準とし、平成34年度（2022年度における同数値の20%削減を最終目標として、（資料）のとおり各年度における中間目標を定めます。平成32年度（2020年度）の中間目標である10%が達成できない場合及び平成34年度（2022年度）の最終的な減量化目標である20%が達成できない場合には、ごみ処理手数料の有料化の実施を検討することとします。

## 3 本市の状況

平成29年度と平成24年度の家庭系ごみの量を比べると、ごみの総量は減少していますが、可燃ごみは1.7%増加しています。また、資源の量が大きく減少していることもあり、リサイクル率は6.4%減少しています。

## 4 今後取組むべき施策

本計画において、今後豊明市が取組むべきごみ減量化のための施策として、「市民、事業者、行政の協働」「市民へのより効果的な啓発の実施」「食品ロスの削減」「資源回収品目の徹底等」「事業系ごみの適正処理」「生ごみ、草木の減量化と資源化」「ごみ処理手数料の有料化の検討」について定めています。

（資料）

年度	一人一日当たりの家庭系ごみの量（g）（※）	各年度における減量化目標	
平成29年度	503	—	
平成31年度 （2019年度）	479	5%	
平成32年度 （2020年度）	456	10%	中間目標の達成状況を判断
平成33年度 （2021年度）	433	15%	
平成34年度 （2022年度）	410	20%	最終目標の達成状況を判断

※一人一日当たりの家庭系ごみの量のうち可燃ごみの量が減った場合の量